

2024年5月の行事予定表

1	水		16	木	祈禱会
2	木	祈禱会 月報印刷と発送	17	金	
3	金	憲法記念日	18	土	
4	土	みどりの日	19	日	ペンテコステ礼拝 各会例会
5	日	役員会	20	月	
6	月	振替休日	21	火	
7	火		22	水	
8	水		23	木	祈禱会
9	木	祈禱会	24	金	
10	金		25	土	
11	土		26	日	会堂掃除
12	日		27	月	
13	月		28	火	
14	火		29	水	
15	水		30	木	祈禱会 月報印刷と発送
			31	金	

5月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。(敬称略)

編集後記

- ◇ 4月29日ナザレン教団の合同墓前礼拝がありました。埋葬者の一覧(250名)も配られ、それぞれの方々を想像し、遠い昔に思いを馳せました。
- ◇ 岡山教会では一つの時代の教会の柱であったS姉を天に送りました。この月報はかつてS姉らによる、「ぶどうの木」(婦人会の機関誌)から始まっていることをご存じでしょうか?来月号はS姉の思い出を募り掲載する予定です。
- ◇ 「こういうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れにかこまれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められたている競争を走り抜こうではありませんか。」ヘブライ12:1

教会月報

2024年5月

No.396

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

ご挨拶

主の御名を崇めます。

この度、岡山教会に牧師として帰って参りました。このような小さな者には思ってもみなかった重責です。多くの方のお祈りと導き、私自身の祈りのうちに心を決めさせて頂きました。これが本当に主の御心でありますように、主が岡山教会の上に、皆様の上に、私の上にも働いて下さり、恵みと祝福を注いで助けて下さいますように心から祈ります。

第一コリント12章20節~27節の御言葉、

だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。神は、見劣りのする部分をいつそう引き立たせて、体を組み立てられました。それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合っています。

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。

2023年度は無牧の状態でしたが、永松先生ご夫妻、役員の皆様、お一人お一人のお働きとお祈りの中で守られたことを心から感謝致します。そのお働きを無にすることのないように、今年度、更に愛と赦しと喜びと感謝の溢れる信仰共同体となっていけますように、導きを心から祈ります。

牧師 大月 康子

K.S.姉妹 前夜式・葬儀告別式

4月22日午後、98歳の生涯を終えK.S.姉が天に召されました。4月23日(火)19時30分より当教会にてご遺族の要請を受け永松師の司式により前夜式が営まれました(12名出席)。永松師はローマ8:26-28を引用し「万事を益とされる神」と題して式辞を述べられ、姉妹のお孫さんから生前の思い出が語られました。

また翌24日(水)13時より葬儀・告別式が永松師の司式で執り行われました。(21名出席)永松師より詩編90:1-12が引用され「生涯の日を数える」と題して式辞を述べられました。この日もお孫さんから生前のS姉の思い出が語られ、両日とも遺族を代表してE.F.姉より、教会で葬送の式を行える喜びと来たる日にまた再会を約束されている感謝が述べられました。この二日間スクリーンにS姉の生前のお写真や動画が流され、故人の懐かしいお姿に胸が熱くなるひとときとなりました。M姉の奏楽による「主よ、みもとに近づかん」を賛美しつつ出棺をお見送りしました。



懐かしの姿がスクリーンに

挨拶するF姉

もろこそ大月巻餅



4月7日(日)は折しも桜満開。新しく着任された大月康子先生をお迎えして最初の礼拝でした。久しぶりに広島から大田先生ご一家、M夫妻も出席され、ヨハネ福音書21:1~19より「新しい春のはじまり」と題されたメッセージをいただき、聖餐式にも与りました。礼拝後に4月の記念日(誕生、受洗)を迎えられた方々のための祝福祈祷もいただき、最後に全員で記念写真を撮りました。27名出席。

CS 進級式



大月康子先生自己紹介

私は岡山で生まれ、朝日高校を卒業した後、奈良女子大学に進みました。一年だけ「良きサマリア人会修道院」の寮に下宿して過ごしたのですが、福音には触れることなく残念に思います。

しかし、1988年に三浦綾子さんの文章を載せた1枚のトラクト(伝道用に配布される小さな冊子)に出会い、「私の所に来なさい」と神様が今夜この文章で私を招いて下さっていると感じ、即座に信じる決心をしました。神様は生きて、知っていて下さるのだと確信した、あの時の喜びは忘れることができません。

途中、カウンセリングに夢中になった時がありましたが、究極的な救いは神様にあると立ち帰り、2013年にナザレン神学校に入学しました。

2016年に卒業して奈良西和教会で8年間牧師を務め、2024年4月に母教会である岡山教会に着任いたしました。年齢は重ねていますがまだまだ新米で、弱さや足りなさを一杯抱えている者ですが、福音の喜びをお伝えできたら、神様から来る“静かな平安”と“力”を味わっていただけたらと、心から願っております。どうぞよろしくお願いいたします。



お元気で!

A.M.姉は、新しい道へ進まれるため、4月14日の礼拝を最後に岡山を離れることになりました。礼拝後、特別賛美をしてくださり、永松師よりお祈りを頂きました。M姉の今後の上に神様の豊かな祝福と守りをお祈りします。

2024年度教会総会行なわる

4月28日(日)礼拝後11:45~12:20に、今年度の教会総会が行われました。

書記の点呼により、A会員34名のうち、出席17名、委任状14名、欠席3名、客員オブザーバー1名で総会成立。議長・大月康子師の開会宣言で総会が始まり、2023年度の行事報告、会計決算および2024年度計画および予算等が承認されました。一羽のツバメも出席(?)して和やかに新年度総会は終了しました。

4月14日(日)礼拝後、教会学校(CS)の子どもたちの進級をお祝いする小さなセレモニーが行われました。出席した子ども5名は前に並び、CS校長・大月康子牧師から一人ずつ名前を呼ばれ、聖書のお話を聴き、プレゼントを頂きました。最後に祝福のお祈りをいただくことができました。教会としても久しぶりの進級式を見守ることができて、しみじみした笑顔の拍手がありました。あいにく欠席だった子どもたちへのプレゼントは、教会から送られました。

出席: S.F.くん(年長)、Y.F.さん(小6)、S.M.くん(小6)、S.E.さん(中2)、S.J.(高2)。

欠席: R.O.くん(小2)、S.Y.くん(小5)、T.Y.さくん(小6)、Y.Y.くん(中1)、R.M.くん(中3)、S.M.くん(高2)。